



## 平成26年度国公立大学附属病院医療安全セミナー

本年7月1日・2日開催の本セミナーからハイライトをご紹介します。

### 「安全文化構築に向けたJR東日本の取組み」

演者：東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 鉄道事業本部安全企画部長 渡利千春



- ・ 社員数：59,370人（2013年4月1日現在）
- ・ 営業キロ：7,512.6km
- ・ 車両数：13,469両
- ・ 輸送人員：約1,680万人（2012年度一日平均輸送人員数）

### JR東日本の目指す「安全文化」とは

「大切なことは何か」を社員一人ひとりが自ら考え、具体的な行動で一步でも安全を向上させることが求められているが、言葉だけでは何も変わらない。

#### 社員一人ひとりが

- ・ 安全を確認できなければ、腹落ちしない。
- ・ 行動に移さなければ、気がかりが解消されない。
- ・ だから私は絶対〇〇を実践する！！



という意識が自身の中にDNAとして根付き、全ての安全の取組みの土台となるのが、JR東日本の目指す「安全文化」

### JR東日本が大切にしてきた「安全文化」浸透の具体的な取組み

#### ①5つの文化

文化	内容
正しく報告する文化	発生した事故・事象を速やかに正しく報告し、事故の再発防止に活用する
気づきの文化	事故・事象に結びつく前の、「埋もれている事故の芽」に気づいて、情報を共有化し、事故防止に活用する
ぶつかり合って議論する文化	原因を究明する際、様々な意見を出し合い、ぶつかり合って議論することで、背後要因を捉え、真に有効な対策につなげる
学習する文化	自分以外・自分の職場以外で発生した事故・事象についても、自らの事として置き換え、教訓を学び、具体的な対応に結びつけていく
行動する文化	最終的に具体的な安全行動に結びついて、はじめて安全は確保される。「自ら考え、自ら行動する」、これが安全を支える源になる

#### ②三現主義

安全の問題は常に「現場」で発生し、答えも「現場」にあるため、現実と向き合い、問題・教訓をえぐりだし、真の対策につなげるため



- ・ **現地**：現地に出向いて状況を知る
- ・ **現物**：現物を見て状態を知る
- ・ **現人**：関係している人々と向き合って現状を知る

#### ③チャレンジ・セイフティ（CS）運動

「“守る安全”から“チャレンジする安全”への転換」を目指し、「安全の先取り」の体制を築くことを目的として昭和63年9月からスタートした取組み。

社員一人ひとりが“主人公”であり、安全を担うキーマンとして、「チャレンジする安全」を原点としている。

### 2014-2018年の安全計画

一人ひとりが力を伸ばし、チームワークで創る安全

#### 1. 安全文化を根付かせる

これまでの取組みを継続し、社員一人ひとりのDNAとして根付かせる

#### 2. 安全マネジメント体制を磨く

安全文化を根付かせるためのマネジメント体制・人づくり

#### 3. 着実にリスクを低減させる

#### 4. 安全設備重点整備計画を推進する

#### 「安全指導のキーマン」の育成

現業機関等に安全に関する知識を継承するため

#### 「安全のプロ」の育成

支社等に安全に関する高度で専門的な知識を継承するため

#### 現場第一線社員に対する安全教育

OJT（職場での教育）、OFF-JT（集合研修）による教育